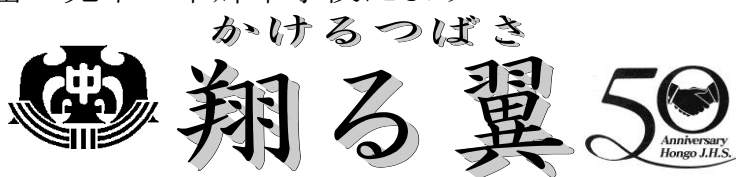


富士見市立本郷中学校だより

学校教育目標



よく考え、学び、求める生徒  
豊かな心を持ち、思いやりのある生徒  
心身を鍛え、勤労と体験を重んじる生徒

「夢と感動と思いやりがあふれ、誰もが成長を実感できる学校」 第7号

## 歌声で紡ぐ校史

校長 上堀 護



11月13日、富士見市いじめのない学校づくり子ども会議で本校代表が司会を立派に務めました

11月8日、キラリふじみメインホールにて、開校50周年記念式典を挙げる事ができました。星野市長様はじめご来賓、発起人会、実行委員会の皆様ならびにご賛同ご支援くださいました皆様方に、深甚なる感謝を申し上げます。本来は昨年度が50年目でしたが、コロナ禍で丸一年延期となった記念事業。前任の中島校長在任中の平成30年1月より構想が練られ、同年7月の発起人会から3年余の準備期間を経て、実行委員長の山田道成様を中心に実を結ぶこととなったのです。その間、多くの方々に支えられながら、本校や地域の歴史を学ぶことができました。詳しくは「50周年記念誌」をご覧ください。

式典当日、ご来賓や生徒の反響が特に大きかったのが、選抜合唱団による合唱と新制服の披露でした。来年度の新入生から導入される制服に在校生代表6名がモデルとなって身を包み、ファッションショー形式で会場を闊歩した時、大きな歓声が上がりました。スラックス・スカートを選択可能にしてLGBTに配慮するとともに、昨年度卒業生にデザインを公募したエンブレムには地域色の茄子紺色が鮮やかに縫い込まれています。

圧巻だったのは合唱でした。「群青」(作詞:南相馬市立小高中学校 平成24年度卒業生/作曲:同教諭 小田美樹)、「CLIMB EVERY MOUNTAIN」(O.Hammerstein II/R.Rodgers)の2曲を、3年生の女子2名がそれぞれ伴奏し、宮沢教諭の指揮のもと、壮大に歌い上げたのです。聴く者の胸を熱くさせ、感動の涙がこみ上げる素晴らしい発表でした。

そして同じ週の12日、本校体育館にて合唱コンクールが開かれました。緊急事態宣言下で9月末まで歌えなかったため、生徒の歌唱力と団結力を育てるためにやむを得ず2週間延期し会場も変更した上での開催でした。体育館には2学年分の人員しか収容できないため、ローテーションを組み、教室にいる学年にはオンライン配信で視聴させました。このような事情で、保護者の方々には今年度も参観をご遠慮いただきましたこと、何とぞご容赦くださいますようお願いいたします(コンクールの結果等につきましては裏面をご覧ください)。

50周年記念事業をとおしてあらためて分かったことは、本校の伝統の一つに生徒の素晴らしい合唱があったということです。記念誌p.20~21の草間満先生、そして現在の宮沢高章教諭に至るまで、連綿と紡いできた生徒たちの歌声。「夢と感動と思いやりがあふれ、誰もが成長を実感できる学校」の姿がここにあると実感できます。保護者・地域の皆様には、これまでのご支援に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも本校の教育活動にお力添えをいただきますよう心よりお願い申し上げます。